

自己評価および外部評価結果

愛の家グループホーム市川国分

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「その人らしい快適で穏やかなシルバーライフを常にサポートします」、「心込めた親切的なサービスに努め、その心を磨き続けます」「さまざまな機会を通じて、地域の人々とのふれ合いを大切にします」を基本とし、スタッフ一丸となって、ご入居者様を支援しております。	管理者と職員は、理念を共有しながら、利用者の自立支援に沿ったサービスの支援をしている。利用者に合わせた・その人らしい支援を目標としている。管理者と職員の間でよく話し合いが行われ努力している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の老人会、催物の参加により地域の方々との交流を継続的に行なっております。今後については、民生委員、地域包括支援センターにご協力を頂き、今以上の交流をしてけるように努めております。	自治会の催し物(年末・年始・敬老会)に参加している。地域の老人会とカラオケをしたり、散歩のときは、ゴミを拾ったりしている。	地域の催しに出かけて行くだけでなく、ホームの行事にも地域の方の参加を期待します。地域の方たちやボランティアとの交流を進めてゆき地域の一員として地域にとけ込めるよう期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご近所とのかかわりは、充分とはいえませんが、少しずつ当ホームの避難訓練や行事等に参加して頂き、ご入居者様をご理解して頂けるよう努め、地域の方を交えながら、勉強会を開催する予定です。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年に4回の開催で、入居者様の状況を詳細に報告し、ホーム内の行事、事故報告、出来事の報告地域に溶け込める様を努めております。また、地域包括支援センターなどから、具体的な助言を頂いております。	第3週の日曜日に行なわれている。事業所内にスペースがないため、近所の集会所を利用している。4～6名の家族が参加されており、1月より民生委員も参加している。	運営推進会議は2ヵ月に1回開催されることを期待します。また事業所内での開催を期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所の高齢課、地域包括支援センターに助言やご協力を頂き、積極的に取り組んでいます。	市としては、包括支援センターに一任している。地域包括支援センターと連絡を取りながら、相談し助言を受けている。	市町村の担当者とは、連絡を密にし、事業所の情報を流すと同時に研修会や勉強会などの情報を得るなど協力関係の構築を期待します。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルを基本とし、ミーティングにて共通認識し、身体拘束のないケアに取り組んでいます。	玄関の施錠は、されていない。身体拘束のないケアに工夫をしながら取り組んでいる。夜間の戸締りのみとしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルを基本とし、ミーティングにて共通認識し、虐待のないケアに努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	取り組んでおります。成年後見人を使用している方がおります。また、ご家族様から相談に対応出来るようにマニュアルも用意し、支援出来る体制になっております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約、改善については、ご家族様へホーム長が説明を行っており質問、疑問、不安をご入居前に解消しており、納得、ご理解頂いた上でご入居して頂いております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見・ご要望については、常時回答できるようにしております。また、即答出来ないものについては、お時間を頂き回答しております。上司に相談もしくは、本社に問い合わせる、ミーティングなどで出来るだけご要望に添えられるように検討しております。アンケートでご指摘を受けたものにつ	利用者・家族の意見・要望を職員がよく聞いている。状況に応じて、丁寧に対応している。	利用者や家族の意見・要望について、職員と管理者が共有し、記録として残し、利用者や家族に、回答の説明と報告をするよう期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務については、現場を中心とし、意見を尊重し行なっております。また、アンケートを利用し、出来るだけ効率、経費削減に取り組んでおります。	現場の意見を出しやすくし、良い意見については、取り組む事になっている。職員のアンケートを出してもらい、意見交換しながら業務に取り入れている。職員は明るく、遣り甲斐のある介護支援に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々でもっている思考を尊重し、充分に発揮出来る環境にしております。アンケートを取り、実行、回答出来る体制を取っております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社員のみですが、定期的に本社にて研修を行っており、ホーム内においては、ミーティングの時間を利用しております。また、2ヶ月を目安に外部研修に参加してもらい、ミーティング内で発表、勉強会を開催しスキルアップや技術の向上に努めております。OJTは常に行なっております。話し		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年2回ではありますが、同グループホームとの交流と、各事業所回りで情報の共有を図っており、質の向上に努めております。相互については、実現出来ておりませんが、出来る様に努めていきます。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時にアセスメントを取り、日々の様子・変化に留意し、早期検討対策を図っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の段階でご家族様より情報収集に努めご家族様に安心して頂ける体制を取っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様のADLを考慮しご家族様、ご本人様と相談・ご提案をさせて頂きご本人に合わせた対応に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ケアの一環として、ご本人様に合わせた対応を心がけ、ご本人様の意思を尊重しお互いに協力し合える様に心がけております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月月末に近況報告(ご本人様の状態含む)を書面にて報告させて頂いております。また、面会時にご様子を報告しております。緊急性がある場合は、電話にて報告し、早期対応しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様以外では、民生委員、仕事場の旧友、知人の方の訪問がございます。常時面会に受け付けております。	11月より個別のケアとして、利用者の希望に対応してなじみの場所への外出支援を行なっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者様の性格・社交性などを踏まえ、人間関係の悪化に留意、防ぐと共に、良好な関係を保てるよう努めております。 お互い協力しあいながら生活出来る環境を作っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	訪問・電話などがあれば随時対応しております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	おひとり、おひとりの状況に対応し、無理のない生活をして頂ける様に努めております。	その人らしい生活支援を行なっている。筋力トレーニングのため毎日飲料水を近くのお店まで汲みに行く事や掃除・レクレーション・ラジオ体操・買物・散歩・歌など利用者の意向に合わせた、無理のない暮らし方を支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントや、ご本人様のご家族様の情報を基本として、②簿の様子を考慮しながらプランに反映し、サービスに努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎月一回のカンファレンス、日々でも暮らし、身体状況の変化を観察し、無理のない生活をして頂けるように努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを中心にスタッフ全員の意見、アイデアを頂きケアプランに反映しております。また、緊急性のある場合には経過観察を行い、申し送りノートを活用し、随時対応しております。	本人・家族の意見を聞くとともに、ケアマネジャーも日常の業務に入っており、現状に即した介護計画を作成するため、それぞれの意見を反映させている。	契約医院とかかりつけ医院の連携について、利用者と家族の意見や思いを介護計画にとりいれることを期待する。センター方式のシートを使用する事なども期待される。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録を中心に、ケア日報、申し送り、個別ファイルにて詳細に記載しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様の日々の様子を観察し、試行錯誤して、ニーズにあった柔軟な対応を心がけて取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流を交えながら、出来る事はして頂き、安全で快適な暮らしが出来る様支援しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療とご家族様、ご本人様のパイプ役となり、連携を図り、支援しております。	事業所の契約医院とかかりつけ医・家族とのより良いパイプ役となるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療と介護、24時間連絡体制のもと情報を共有して的確に指示を仰ぎ、対応、支援をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院・ご家族様と連携を取りながら、入院中・入院後に備え情報収集をして、ご家族様と相談しつつ、退院後も的確に対応出来る様にまた、ご本人様安心・快適に過ごして頂ける様努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現時点での状況を踏まえ、ご家族様の意向、介護面・医療面で考慮し、最善策をご提案、協議して支援に取り組んでおります。	本人や家族の意向を共有して、終末期のあり方について、職員の間で検討中である。	本人や家族の意向を把握し、事業所として出来る事を明確にしておくことが必要と思われる。又、地域の介護や医療の関係者とも連携をとり、方針を共有しチームでの支援が出来る様、取り組む事を期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル・連絡体制を中心に定期的な勉強会、実践を行っております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災設備においては、年に1回の設備点検実施。23年内に、スプリンクラーの設備を予定しております。地域との関わりが、整備されていないなか、運営推進会議などで参加を促し、23年上半期にて地域の方々ご参加の上夜間想定避難訓練を実施予定しております。	事業所独自の避難訓練を行なっている。非常食も備蓄している。	今度、地域の方を交えた夜間の避難訓練を予定しているが、窓側からの非難は、地面まで段差があるので、段差の解消を期待したい

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	鍵の掛かるの書庫にて個人ファイルの保管。プライバシー、ご本人様の意思を尊重しております。声かけについてはご入居者様に合った対応をしております。記録の記載はご入居者に見えない配慮をしております。	言葉かけや身体の介助支援の時には、人格を尊重し、プライバシーの確保された対応に気を付けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	したいことや、選んで頂く時に選択の意思の確認をそれぞれの場面ごとに行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日課・体調に合わせながらスタッフは行動し、無理のないその人らしい1日を送って頂ける様にしております。また、選択、意思尊重を図れる様に考慮しながら、希望に沿って支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様のご趣味・嗜好(化粧品など)に沿った身だしなみを支援しております。好きなものを自由に選んで頂いております。また、介助が必要な方にも、ご本人様に選んで頂いております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ケアプランを基本としてご入居者様のADLを考慮し、準備の段階から後片付けまでの間に参加して頂ける工夫、残存機能の維持・選択の意思表示の出来る支援を心がけております。	食事は、量より品数を多くしている。買物に出かけた時は、おやつを選んで、一緒に作る事もある。食事の準備や片づけは、出来る利用者が手伝っている。利用者は、本人の馴染みの食器を使用している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材については、栄養管理日誌を基本としながら食材を使用し、栄養のバランスを考えながら、体型や嗜好に合わせて行っております。また、個々の食事量・水分量については医師の指示や、1日のご本人の量に対し、食事補助器具なども考慮し、出来るだけ自力で召しあがって頂く様支援し		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っており、ご様子に合わせた支援をしております。また、月/3回(毎週木曜日)歯科との連携を図っており早期発見、早期治療を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご入居者の排泄リズムを把握し羞恥心に配慮した対応、洗淨、もしくは、清拭を使用し清潔を保持し、無理、負担の少ないように支援しております。	排泄のリズムを把握して自立の支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄リズムを把握し、自力排便を目標に日々の体調を考慮しながら下剤の調節等を往診医師と連携を図っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ある程度時間や日程の設定はあるが、体調に合わせた入浴を心がけてしております。毎日入浴している方もいらっしゃいます。入浴剤なども利用し、楽しんで入浴して頂ける様支援しております。入浴が出来ない場合は、足浴、清拭をして身体清潔保持しております。	決められた時間・曜日以外にも、ご本人の希望により毎日、夕食後に入浴している利用者もいる。楽しく入浴出来るよう、支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様の日課、日々の体調に合わせて、声掛けしてご本人様の意思のもと、休息して頂く様支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師、薬剤師と連携を図りながら、薬剤の内容把握し、服薬マニュアルに沿って間違えない様に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	従来のご趣味の把握をご家族様より情報収集し、得意な事や好きな事を日々の生活へ取り入れて楽しく暮らせるように支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年間行事を立て、月1回以上の行事開催と、個別ケアの実施を行っております。イベント(22年は2回・23年は3回)に応じ、ご家族様何人でも参加して頂けるようにご案内しております。また、ご入居者様全員が、順番に外に出る機会を設け、買い物・散歩に参加して頂き、社会性を感じて頂ける様支援しております。	スーパーで買物したり、近くの公園に散歩に行くなど、日常的に戸外へ出るようにしている。外出先で地域の方や子供さん・お母さんたちと交流している。駐車場の警備員さんとも顔なじみになり言葉をかけてくれます。又、本人の希望を把握して職員と一対一の個別外出の支援も行なわれている。	おおきな行事などは、ご家族に参加を案内すると同時に地域の方たちにも案内して、地域の人々と協力しながら外出支援が出来るよう期待したい。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭トラブルを考慮し、入居前に金銭管理の説明し、ご本人様、ご家族様の承諾の上で、金銭保有して頂いており支援致します。しかし現在は、個人保有者はおりません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	限定などはしておりませんので、ご本人様のご希望があれば、その都度対応お受けしております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の清掃にご入居者様にも参加して頂き、衛生面の配慮を行っております。季節ごとに装飾品を取替え四季を感じて頂ける様配慮しております。	共有部分は、明るく・清潔で季節感を取り入れた、居心地の良い空間です。入居者の作品や写真も飾っている。テレビは、入居者が自由に操作しているが、食事の時は食事に集中するために、スイッチを切るように利用者が決めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	孤立することなく、テーブル席の配慮しつつコミュニケーションを取れる空間、工夫しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全面等を配慮しつつ、自宅で使用していたご本人にとって馴染みがあり使いやすいもの、趣味を活かして居室に入れ、安心して頂けるようご本人様とご家族様と住みやすい環境の整備、工夫を行っております。	ベットとエアコンは、備え付けてあります。ご本人の使い慣れたものを持参して、それぞれの好みを取り入れ、安心して住みやすいよう工夫されている。	備え付けのベットは、高さの調節が出来ないので、体格や症状によっては使用が難しくなる事があるとおもわれます。今後の配慮を期待する。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室内での生活についてはご自分で整理整頓、ご自分の生活空間を大切にしております。ご自分で出来るように、障害物の配慮や、出来ることはして頂き、無理のないように支援しております。浴室やトイレの位置・場所の明記が嫌味にならないように工夫しております。		